

「ジャンボリーに行つて」 八ッ星てんとう班 班長 松浦 晃大 大口 1

ジャンボリーはとにかく楽しかった。

とにかく楽しい。

そして、人間的にも成長できる場所だと思った。

愛知24隊が結隊された時は、同じ団の人しかわからず右も左もわからない状態だった。

でも、訓練という名目のキャンプや結隊式で、班として隊としてまとまりがでてくるようになった。

そしてジャンボリーに行つて、一週間の間同じ屋根の下で過ごす、そこが一番安らげるような、楽しめるような場所になった。

外国スカウトとも交流できたし、九州や北海道のスカウトとも話したり接したりすることができた。

ジャンボリーの魅力は色々有るが、自分が一番魅力的だと思うのは、仲間が、出来ることだと思う。

一週間一緒に過ごしたので、年や性格など関係なく色々なことが話せると思う。

そして何より24隊にいと、とても安らげる。

24隊の一人一人がピースとなり、ジャンボリーを通して一つになったことが、ジャンボリーへ行った最高の意味であると、私は思った。

「ジャンボリーの感想」 八ッ星てんとう班 次長 小池 俊哉 江南 2

ぼくは、最初は日本ジャンボリーって何、と思っていました。ジャンボリーに興味をもったのは、最初の集まりの一ヶ月程前でした。愛知二十四隊の皆と初めて出会ったときは、自分はこの中でちゃんとやっけていけるのだろうかと思いました。しかし、ちょっとすれば話も多くなり、にぎやかになって、なんとか安心しました。班の中では、次長になって、班長の補助などをしなければいけなかったけど、はじめのうちは、あまり役にたてませんでした。八月二日に出発して、三日には、開会式がありました。四日からあったプログラムでは、みんなで意見を出し合いながら、たくさんの所を見に回りました。あいの風のような学べる所や、天空の風のような遊べる所があつておもしろかったです。その中で、ドリブルリレーというもので、最高記録を更新して、なんか一番になったような気がしました。班には、アメリカ人も来て、とてもにぎやかになって、貴重な体験ができてよかったです。

「ジャンボリーの感想」 八ッ星てんとう班 備品A 山本 翔平 北名 2

8月2日から8日までジャンボリーがあつた。しかし、6泊7日という長さにもかかわらず、あつという間に過ぎていつてしまった。

そんなジャンボリーで一番思い出に残っているのは、どんなことよりも普段の生活だと思う。どんなことをしていても楽しく、班のメンバーと過ごすことができたからだ。少し楽しみとしてのおしゃべりは少なかったかもしれないことは、後悔している。しかし、閉

会式のときは、みんなと一緒に曲に合わせてはしゃぎ、最後の夜にも夜遅くまで遊んでいて、こんな良い隊にいて本当に良かったと心からそう思うことができた。

4年に一度というジャンボリーにたまたま行くことができ、たまたま同じ班になったからこんな楽しい思い出が出来たということは、本当にうれしいと、しかいえない。もっともっとボーイスカウトの活動を続け、このジャンボリーで感じることできたうれしさを他のジャンボリーなどでも感じてみたいと思う。

「日本ジャンボリー」 八ッ星てんとう班 環境 上杉 勇輔 犬山5

ジャンボリーに行くキッカケになったのは自分の団の隊長や親に進められたことです。

最初は、めんどくさかったけど、訓練キャンプを重ねて行くと、日本ジャンボリーに行くのが、とても楽しみになってきました。

ジャンボリーの服そうや、帽子をもらったときは、気合が入ったけど、持ち物の一覧表を見たら先が心配になりました。

思った通り、荷持を準備するときは、とっっつっても苦労しました。

当日は、朝がとても早くて、ねむくてつらかったです。でも、バスに乗ったら、ウキウキして、ねれなかったです。

ジャンボリーでは、全てが楽しいことばかりだったけど、一番楽しかったのは、最終日の、夜のトークで、おそくまで、起きていました。

トークの内容は、ぼくの、心の中にしまっっつっておきたいと思います。

次のジャンボリーは班付ベンチャーとして行きたいので、これからも、ボーイをがんばりたいと思います。

「いろいろあったジャンボリー」 八ッ星てんとう班 安全 鈴木 芳貴 清須1

ぼくは、正直、ボーイスカウトという物はそんなに好きでは、ありません。だけど、ジャンボリーの7日間を、思い出すと、ボーイスカウトやっててよかったなあと思えるようになりました。

その理由の一つとして、たくさんの人と、交流できたことです。

ぼくは、いろんな人としゃべりました。大阪の人や、宮城の人、岐阜の人などの人としゃべりました。そして、いろいろな交換もしました。

まあ、そんな感じで、とても、楽しい、いろいろあった、ジャンボリーでした。

「ジャンボリーの感想」 八ッ星てんとう班 記録 岸 里佳 江南2

わたしは第14回日本ジャンボリーに行って、外国や他県のボーイスカウトたちとの交流、そして仲間と協力していろいろなことに挑戦する楽しさを知り、それらを通して夏休みのこの一週間で一生忘れられない思い出となり、わたし自身も一歩成長したかんじがします。本当にボーイスカウトをやっていて良かったと心から思いました。普段では、体験できない

ようなことができたので、そのような体験を生かしてこれからのボーイスカウト活動に取り組んでいきたいと思っています。また、これからの生活においても生かしていきたいです。それからアメリカから来た、デリックとマイケルも一緒に生活して、なんかホームステイをしている気分がとても貴重な体験をしたと思っています。何もかもが、楽しいでいっぱいの一週間でした。いつものキャンプとは違って日本全国から、また海外からまでの大規模なキャンプでいろんな場面で圧倒されました。本当に楽しかったです。

「14NJに参加して」 八ッ星てんとう班 レク 近藤 幹知 北名1

僕は、初めての「ジャンボリー」というイベントに対してたくさんの不安がありました。それは一週間という長い日程が僕には初めてのことだったからです。

当日集合してからバスに乗ってジャンボリー会場には長い時間かかって到着しました。バスの中では班でばばぬきなどをして楽しく過ごしました。ついてからバスの中の荷持をおろし24隊の場所までいきました。ついてから班のテントとかを立てたりしました。テントの中は意外と広いものでした。

次の日は、開会式がありました。開会式ではすごく大勢の人たちでこみあっていてびっくりしました。開会式はウェーブとかで盛り上がりいろいろと話を聞いたりしました。

次の日の朝のプログラムは草原の風でした。草原の風ではそれぞれの国のスタンプを集めたり交換したりしました。昼は天空の風でした。天空の風では、ドッチビーやディスゲッターやドリブルリレーなどをやって遊びました。次の日の朝は、宗教儀礼がありました。宗教儀礼では大谷スカウトで話を聞いたりしました。昼は海原の風チャレンジバレーなどをやりました。夜はジャンボリー大集会がありました。次の日は楽しいプログラムをして一日過ごしました。最終日は閉会式があつて話を聞いたり連盟歌や風のジャンボリーなどを歌うなどをして盛り上がりました。

そして閉会式が終わってから写真をとったりみんなでUNOなどをしました。次の日はテントの片付けなどしてバスに乗って帰りました。6泊7日のキャンプでケガもしましたがとにかく最後まで参加できて良かったです。この思い出はいつまでも忘れないでいようと思います。能登半島の海はすごくきれいだと思うし珠洲もきれいでした。たくさんの方がたお世話になりました。ありがとうございました。

「14NJに参加して」 ハゲタカ班 記録 増田晴幸 北名1

自分は、14NJに参加して、よかったですと思います。

まず、たくさんの人と触れ合えたこと。地区キャンボリー、県キャンボリー、14NJでいろいろな県の人や、地区の人と話ができただけが、よかったです。

次によかったことは、班の人と協力して、立ちかまどを作ったり、野外プログラムを行ったりして楽しめました。

一番全体的に盛り上がったのが、閉会式で、「アフロマニア」や「ハーツグロー」などが来

ていて、楽しかったです。花火も、はくりょくがあって、忘れられない思い出になりました。

15NJに参加できないかもしれないけど、また、日本ジャンボリーに参加して、14NJで会った人と、また会いたいです。

「14NJに参加して」 ハゲタカ班 備品A 倉地 千紘 江南3

ジャンボリーに参加出来て本当に良かったと思います。八月二日～八日までのキャンプは、毎日がとても楽しかった事ばかりでした辛かった事を考えても思い出せない位です。思い出すのは初日の星空です、他県のスカウトが次の日だったので初日は最高で、流れ星も観る事が出来ました。

心残りと言えば、立ち釜戸の紐が切れてしまった事です、完璧に作りたかったのもとても悔しかったです。

最後になってしまいましたが、すばらしい思い出を作ってくれた、河村隊長、椎葉副長、大谷副長、渡辺さん、数多くの班付ベンチャーさん、そして、24隊の皆さん、本当にありがとうございました。四年後のジャンボリーに向け、先輩ベンチャーさんを見習って私も頑張りたいと思います。

「ジャンボリーに行って」 ハゲタカ班 備品B 竹市 すず 江南3

ジャンボリーに行く前は「小学生の人はたくさんいるかなあ？」とか「一週間キャンプをするなんて耐えられるかなあ」って思っていたけど、行ってみると楽しいことばかりで、一週間は思ったより短く感じられました。それに初めてやることもたくさんありました。そのなかでも一番楽しかったのは「ウォールクライミング」です。TVで見たことがあったのでやってみたいなあ～。と思っていました。TVでやっていた人はすごく簡単そうにやっていたのに、いざやってみると途中で腕が痛くなって大変でした。でも楽しかったです！

初めて会った人もいました。まず一人目は皇太子様です。TVで見るよりなんとなく若く見えました。もう一人は野口宇宙飛行士です。野口さんはジャンボリーにも出たことがあるそうで、なんだか親近感がわいてきました。

草原の風や能登の風でやったプログラムも楽しいものばかりで、人気のあるプログラムは並んでいました。

私の中で今回のジャンボリーは『初めて』がたくさんありました。15NJではベンチャー隊として、今回のジャンボリーでいろんな人に教えてもらったことを、今度は今のカブ隊やビーバー隊の人達に教えてあげたいと思います。

「ジャンボリーでの感想」 ハゲタカ班 安全 山口 寿希也 犬山5

ジャンボリーでの感想で一番だと思うものは、いろいろあります。たとえば火の番や火つけまきの保管それといろいろなところの人とのふれあいなどたくさんの経験をしまっただけどやっぱり一番もっとも楽しかった事は、二十四隊のみんなとすごしたキャンプみんなとた

べた食事その他の人とすごした思いですがやっぱり一番です。それとやっぱりあのさいごの日は一番みんなもりあがってはしゃいだりしていたことなども強く心にのこっていました。ちなみにジャンボリーが終わってからまた団の方でキャンプがあって勇輔がジャンボリーのことをいかしたおかげか班長にもなったりしていろいろな成長があったきもしましたしこんごみんなとあえなくなるも少しさみしく思いましたが十月十五日をさかいに楽しくおわせようとけつしました。本当にジャンボリーではありがとうございました。

「ジャンボリーで」  
ハゲタカ班 環境 金子 央 北名 2  
僕はジャンボリーで体験したことの楽しさやおもしろさなんかはまだ心に残っています。でも今はちょっともう完全には覚えてませんが。  
その中でも一番思い出深いのが会場ですごした最後の夜で閉会式が終わった後の全員にカードをわたす時のみんなの笑顔です。  
たぶんその時はみんな楽しかったんだと思う。  
自分個人の感想では選択プログラムの一個で僕の一番苦手とする腕の力を使うなにかをのぼるものの一個のウォーククライミングで始めの方はもう無理と思っていたがやってみるとでたことの印象の深さは今も心の中には残っています。  
ほかにもいろいろな事がありました、ほかにもうれしかったことはいろいろな人と友達となれたことことです。  
また15NJも行きたいなあと思いました。今後もよろしくお願いします。

「ジャンボリーの思い出」  
ハゲタカ班 レク 守屋 貴司 清須 1  
僕は、最初ジャンボリーに行きたくありませんでした。だって、他の隊の知らない人達と一週間もキャンプするなんて聞くだけで気が重くなります。  
でも、行ってみたら、けっこうすぐみんなと仲良くなったので、思ったより楽しかったです。その楽しかった中でもやっぱり一回戦負けしたビーチフラッグが楽しかったと思います。このプログラムは、とにかく暑くて海に入りたいので選んだやつだったので、海で遊ぶことが目的でした。海で遊ぶのは、とにかく楽しかったです。  
ジャンボリーは、キャンプとは比べ物にならないくらい楽しくて、けっこう長いキャンプなのに、毎日があまり苦になりませんでした。こんなに楽しい思い出ができるんだから、ボーイスカウトやっててよかったなあーと思います。

「大感激ジャンボリー」  
モリコロ班 班長 井上 優毅 北名 1  
私は最初「ジャンボリーと聞かされても、スケールがパツとしない。」といった状態でした。しかし、その事前訓練の規模が半端じゃない。(このときすでに驚きまくりの状態。)私は、当日まで、緊張しっぱなし。このとき、私の想像は、「まあ、ジャンボリーのことで、県キ

ジャンボリーの三倍から十倍だろう。」と想像していたスケールの二乗や三乗に×2をしたくらいだった。だが、ここから私の壮絶なる、人生勉強の始まりになるろうとは、想像もしていなかった。ジャンボリー二日目から班員とのゴタゴタ。班員の気持ちを理解しようと必死だった。だが、丹羽と中島のケンカ、渡部はナタでケガさらに立貴と尾鹿君が調子を崩し、私はだいぶ、自信を失った。そしてとうとう精神的なあつてか、私も調子を崩してしまった。今思うと、正直なさけなかったと思う。しかし忘れはしないだろう八月五日の夜、私は隊長によばれ、私のなやみについて聞いてくれた。そして隊長は「班員にグチグチ言われてヘコんでようじゃダメだ」私は、だいぶその言葉が、身に染みだ。今まで学校では、周りの人達に悪口を言われたり失敗したことでからかわれたりすると、すぐにヘコんでいた。心は、曇っていた。だが、その言葉で、心の曇りは、一気に消えうせた。翌日、私は、何事も、必死でやった、残りのジャンボリーを精いっぱい楽しもうと。そして、私の一番ジャンボリーで楽しかったこと、それは、県外のスカウトと交流できたことです。そして、だいぶ持っていった交換用品は、八月七日の時点で、一品も残ってなかった。全て交換できたのだ。これほど私にとって自信となりました。今回のジャンボリーは、ボーイスカウトをやってきた中で、勉強になりました。今は、ベンチャースカウトですが、あの時の思い出は、今でも脳裏に残っています。次は、世界ジャンボリーに出る予定なので、それにむけてがんばっていきたいです。

「ジャンボリーの感想」

モリコロ班 次長 尾鹿 陽介 江南1

僕は、前の県ジャンボリーに行ったけど、そこではほとんど同じ団で行動していました。だから、問題がほとんど起きませんでした。しかし、今回はバラバラになったため、とても心配でした。最初はみんなと、しゃべったりできなかったけど、いつの間にかしゃべれるようになってうれしかったです。

期間中たくさんの行事があったけど、なかでも、ジャンボリー大集会がよかったと思います。印象に残っているのは和太鼓です。たくさんの人が、ぴったりそろって演奏するため、すごい音がしました。

閉会式はロックバンドの演奏などで、すごくもりあがりました。ああいう雰囲気は、はじめてでした。その後の花火では、今までのことをふりかえりながら見ました。ながいと思っていたけど、とてもはやかったような気がします。この7日間いろいろあったけど楽しくすごせてよかったです。

「ジャンボリーの感想」

モリコロ班 備品A 中島 俊 犬山4

今回の14NJには4団から2人、僕ともう一人伊藤君が参加した。隊は分かれていた。だけど以外と近いサイトだったからよかった。係りは備品Aだったけどほとんどできなかった。でもみんながあまりやりたがらない排水にもよく行きました。ごみ捨てもです。

とくに最後の日は自分がほとんど持って行って行っていました。

班の中では、班長と次長が倒れて班員の一人が会場でナタで手を切り、一日は4人だけになったときもあった。

自分も最後の日にテントのロープに引っかかって左ひざをすりむいたこともあった。

右ひざは4ヶ月ぐらい前に骨をつぶしたのでぶつけてはいないけど衝撃きていたくなかった。そのときは自分でも何に引っかかったのかこけた時はわからなくて立ちあがった時に気づいた。ジャンボリーでは時に重たい物を運びまた米をたくのに失敗したりした。けど楽しいときもあった。それは6t機関車を引っ張った時に今まで僕たちの班と同じ人数で引っ張ったのはもう1班しかないと言われた時だった。でもちょっと心残りがある。それは自分一人で引っ張れなかったことだ。班の人数じゃなくても男子1~2人ぐらいで引っ張るのが試したかった。もう一回やりたーいといいつつもそこからサイトに戻って空想をして絶対一人でも引けたって思いながら次のことをしていた。14NJ、4年に一回しか開かれないからもし参加するのなら次の15NJはベンチャー隊だー。14NJ、思いっきり楽しんだ1週間(約)いろいろあったけれどこれほど楽しい行事はないと思った。

「ジャンボリーに行つて」 モリコロ班 備品B 伊藤 菜月 江南2

私は、このジャンボリーを終え、まず始めにみなさんに感謝したいと思います。

私は、ジャンボリーをとおしていろいろな人に、出あいました。外国の人やそのほか日本でも愛知県から遠い県の人とも話ができたし、いろんな性格をした人がいました。たくさんの人々の中の24隊という隊に自分はいたんだなあと今ふりかえるとそう思えます。

他にも、いろいろなきかくや開会式大集会、閉会式1つ1つが大切な思い出です。私は、その中で1番記憶にのこったのは、旗をもっておどっていた人たちでしたあれはとても感動しました。私は、あと花火にも感動しました。とても楽しかったです。ジャンボリーの最後の夜に、ボーイスカウトの花がさいたようでした。最後に、隊長、副長、班付きベンチャーや班の人々や他の地域の人々に感謝したいと思います。ありがとうございました。

「第十四回日本ジャンボリー」 モリコロ班 環境 伊藤 美沙 江南3

三月のある日、突然電話で「ジャンボリー行く？」と聞かれました。ジャンボリーという大会があるのは知っていたけど、どんなことをするのかは、全然知りませんでした。とても悩んだけど、出した答えは「参加する」ということ。

それからはホームページやパンフレットなどで、ジャンボリーについて調べていき、こんなにいろいろなことができるんだ、とかすごくたくさんの方がくるんだな、と感心しました。

でも、一週間って長いよなと考えたり、事前訓練では作業が終わらなかつたりして、不安が高まるばかりでした。

当日、たくさん荷物を持ち、バスに乗り込みました。会場まではとても遠くて、疲れたあ〜と思っていたけど、会場の様子を見ると、不安と疲れは夢と希望にかわり、ジャンボリーの生活がとても楽しみになりました。

設営日の夜は、ほとんど人もいなくて、草がぼうぼうの何もないところ。という感じでした。空にはたくさんの星が輝いていて、流れ星も見ることができました。

開会するころには、テントがたくさんたち、売店もあって、ひとつの街ができたようでした。ご飯を炊くときに、どれくらいの量を炊けばいいのか考えるのも難しかったし、なかなかうまく炊けなかったりで大変でした。

参加プログラムは、どこも混んでいて、希望のところには入れませんでした。世界スカウトセンターでは外国の人たちと交流できたし、ワッペンも手に入れることができたのでとても良かったです。

一週間はあっという間に過ぎ、もっとここでキャンプしたいなあと思いました。みんながいなくなったキャンプ地は、長かった草もペタペタになっていて、はじめ来たときは、全然違いました。

ジャンボリーに参加して、できるようになったことがいっぱいあったし、キャンプが大好きになりました。今では、こんなに楽しいジャンボリーに参加できたことは、幸せなことだと思います。これも、リーダーの方たちのおかげだと思います。これからのスカウト活動に、学んだことを生かし、たくさんの方に挑戦したいと思います。

「俺たちの日本ジャンボリー！！」 モリコロ班 記録 渡部 丈 犬山 5

八月二日から八日までの期間で行われた、日本ジャンボリー。振り返ってみて、初めてみんなにあった日から積み重ねて行ってきてついに来たジャンボリー、バスで気軽に話し合いながらついに会場につきました。こうして疲れるスケジュールを六日行った。ここまでは軽いあらすじ、今からが俺の感想みたいなことを言っていくところですか。やっぱり俺のナタ事件は、忘れることのない出来ごとでした。まあジャンボリーに行ったという証として受け止めておきます 笑。でもやっぱり一番楽しい日だったのは閉会式でした。二グループのバンドの人達が歌っているテンポに、俺達みんなでフィーバーしていました。終わった後でも興奮は治まらず、夜の一時ぐらいまで続いてました。とある情報によると、俺達はかなりうるさかったらしい。俺達のジャンボリーは永久に不滅だあー！！。

「ジャンボリーの感想」 モリコロ班 レク 舟橋 立貴 北名 2

僕は8月2日から8月8日14日本ジャンボリーがありました。ぼくはそれに参加しました。違う友達とアドを教えたり、チーフとか交換したりしました。一番楽しかったのは閉会式で最後、みんなと踊ったり、吹奏楽を見れて本当に楽しかったです。一番辛かったのは救護所に行った時でした。何故かという始めて来たときは怖くないけど2回目来たときは先生に「また君だね」といわれてand先生の目が←怖いと思います。そんななかでもきちんとできたと思います。14NJはたのしかったです。



「第十四回日本ボーイスカウトジャンボリー大会を終えて」

サボテン班 班長 伊藤 紀貴 江南 2

僕は第十四回ボーイスカウトジャンボリー大会 in 珠洲に愛知二十四隊サボテン班班長として、参加しました。この何日かの日々は、僕にとって二度と経験できない、貴重な体験ができました、一つ一つが思い出として鮮明に脳内のアルバムとして刻まれています。

一番記憶に残っているのは二つあって、ひとつはプログラムの砂団子バトルです。すぐに負けてしまったけど、そのあと、小学校の野外学習以来入る機会がなかった海に入ることができたのでとても印象に残っているんだと思います。

もう一つは、閉会式の時の花火です。これも久しぶりにあのような、大がかりな物を見れたので記憶に残ってます。

隊長、副長、ベンチャースカウトの方々それから班員たち、(ごめんね、頼りなくて、)精一杯の感謝を捧げます。

「14NJの感想」

サボテン班 次長 石原 和佳 北名 1

僕は14NJに参加することになってずっと楽しみでした。はじめの訓練キャンプはほとんどの人が知らない人でとても緊張しましたが班が決まって班の人と仲良くなってからほかの班の人仲良くなって次のキャンプが楽しみになりました。

次のキャンプでは、立ちかまどを作りました。立ちかまどはうまくできたけどごはんはうまく炊けなかったけどとてもおいしかったです。

次のキャンプは立ちかまどもごはんもうまくできたしほかの班の人と夜トランプをして楽しかったです。

次は14NJの当日でした。バスの中で大谷副長たちとトランプをやったりしました。キャンプ場について荷物ははこんでテントと立ちかまどをつくりました。そのあとごはんをたいて初日はすぐ寝ました。

次の日は開会式でした。もりあがっていて楽しかったです。

次の日は選択プログラムがありました。いこうとしていた場所が3時間まちであきらめてドッチビーに行くことになりました。だけど予想以上に面白くて相手の人ととてもなかよくなれました。

次の日は宗教儀礼とジャンリーと大集会がありました。大集会ではごはんが食べれなくてとてもおなかがへっていたけどとてもたのしかったです。

次の日は海でおよいだりして、たのしんで夜はトランプをやっていたら大谷副長にうるさいとおこられました。

次の日はとうとう閉会式がきました。ライブなどがあってとてもたのしくてみんなでさわいでいました。最後に花火があってとてもきれいでした。閉会式のあとも夜おそくまでトランプやウノやしゃべったりしてほとんど寝ないでのがつぶれるまでみんなでおどったりさけんだりしてさわいでいたら、いっかいシャワーいけと隊長にいわれもどってきてみんなさ

わいでいまして。

最後の日が来て荷物ははこんだあとバスで愛知へむかいました。バスのなかでもずっとさわいでいました。さいごにメールアドレスをこうかんしてかえりました。

14NJの班でまたキャンプをしたいなおもいました。とてもたのしかったのでベンチャーになってもまたこんどは15NJにいきたいです

「ジャンボリーの感想」

サボテン班 備品B 渡辺 亮 北名2

6日間のジャンボリーは、全てのことが楽しくて、あっというまに終わってしまいました。その中でも、最も心に残ったのは閉会式です。

最初は火おこしゲームの決勝等があつてちょっとつまらなかったけど、途中から、音楽アーティストのライブで、もりあがってみんなでさわぎまくりました。隣にいた山梨県の人達と仲良くなったし、いろんな域の人とも仲良くなりました。名刺交換もしたり、ワッペンの交換もして大阪のワッペンが3つになってしまいました。選択プログラムも他の市かったけど、3.5kmのハイキングコースを曲がる場所を間違えて、10kmぐらい歩いたのがバカみたいだった。けどそのおかげで天然記念物の「平床貝層」を見ることができてよかったです。4年に一度のジャンボリーに参加をして、とてもいい体験ができてよかったです。もう一度、あのメンバーでキャンプがしたいと思いました。最後に・・・両親と隊長にありがとうおー！

「ジャンボリーを終えて」

サボテン班 環境 梅田 雄太 江南1

8月の2から8日まで石川県でジャンボリーがありました。バスに乗って長い時間をかけて会場につきました。ぼくは、これからどんなことがあるのかたのしみでした。初日はテントを立てて1日が終わりました。3日目はプログラムをやりました。いろいろなプログラムをやりました。4日目はウォークラリーをやりました。3.5キロのコースを選んだけど道に迷ってかなり遠くへ行ってしまいました。そのときはかなり疲れました。5日目はジャンボリー大集会がありました。皇太子と宇宙飛行士の野口さんが来ていました出し物がたくさんあって楽しかったです。最終日は、テントをしまつて昼には帰りました。たくさんの思い出が作れて楽しかったです。

「14NJの思い出」

サボテン班 レク 渡邊亮磨 江南4

ジャンボリーの訓練キャンプで初めて班の隊の人達に出会った。会うまでは、どんな人だろうかと、いろいろなことを考えていた。会ったときは、みんな個性あふれる人達だなと思った。わくわくしてジャンボリーが楽しみになりました。

ジャンボリーの当日、少し緊張しました。長い旅をへて会場に着いたとき「すごー。」っていう風に感じました。この会場がテントやらでいっぱいになるんだなあと思いながら移動していました。それから、ジャンボリーの6日間がスタートしました。

6日間の中では、いろいろなエピソードがあり、いろいろ大変なこともありました。やる  
ことが遅いとか言われ続けました。でも楽しかったこと、閉会式がありました。一番の思  
い出は、ありません。それまでのことも、そのトキのこともすべてが思い出だからです。出  
会い。旅立ち。別れ。全部思い出です。開会式も大集会も閉会式もマイケル達との出会いも  
です。ジャンボリーで思ったことは、一期一会を大切にです。

「ジャンボリーを終えて」

サボテン班 記録 伊藤 高宏 清須 1

8月2日から、8月8日まで、石川県の珠洲市で日本ジャンボリーが開催された。

最初の日は、とても楽しみでたまらなかった。これから始まるジャンボリー。大変かも  
しれないけど頑張ろうと思った。

予想通り、キャンプは苦しいものだった。プログラムの、ウォークラリーで。3.5km  
のハイキングコースで道を間違えて16kmコースになってしまったことだ。足が真っ赤にな  
って大変だった。もう1つは、日陰が無かったことだ。熱中症の人がたくさんで、きつか  
った。でも、ジャンボリー大集会や、みんなとの交流で、とても楽しかった。

とても疲れたり、大変だったけど、とても大切な思い出になった。